

不登校・ひきこもり（おとな）の家族学習会

♡しゃべるの会♡

同じ立場のご家族どうしが“しゃべる”ことで
心理と対応のあり方について“心のシャベル”で掘り下げる

- ◎民間非営利研究機関「ヒューマン・スタジオ」が開催している、テキストと担当者付きの家族会。スタジオが配信しているメールマガジン『ごかいの部屋～不登校・ひきこもりから社会へ～』の新しい号をテキスト（対象号）に使用。筆者である担当者に直接質問したり、テキストの内容にとらわれずにご家族どうしで自由に語り合ったりすることができます。
- ◎2017年度も「不登校編」と「ひきこもり編」に分かれて開催しています。
- ◎テキストの内容と参加者の顔ぶれが毎回変わる新鮮な会で、大切なものを掘り当ててみませんか。

**ご家族
限定！**
(当事者の方
はご遠慮
ください)

第37回（不登校編）・第38回（ひきこもり編）

日 時：第37回＝7月 8日（土）／不登校親の会「パレット」と共催
第38回＝7月22日（土）／ひきこもり親の会「すばる」と共催
時間＝午後1時半～4時半

会 場：ひらつか市民活動センター

対象号：224号（2017.6）

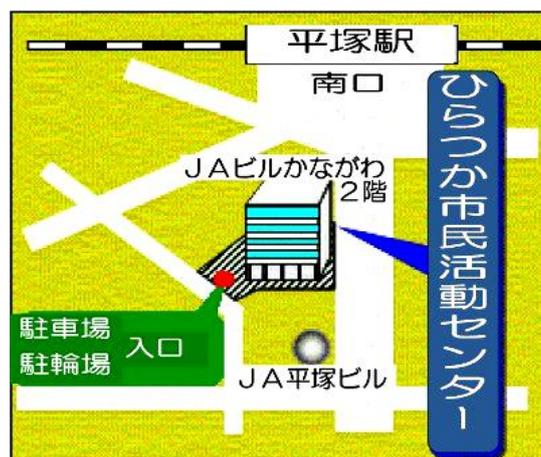
参考号：179号（2010.7）

参 加：原則として、おおむね20歳の上下または学校
在籍の有無でいずれかをお選びください。

定 員：10名（申込先着順）

費 用：ひとり500円（テキスト代です）

申込み：電話・メール・FAX（裏面申込欄使用）のい
ずれかで下記に（当日にならないとわからない
方は当日電話でお問い合わせください）



今回は、KHJ全国ひきこもり家族会連合会が実施した調査などを参照しながら、不登校／ひきこもり状態が深刻化する要因や関係者の役割を論じるテ

キスト（対象号）を読み上げたあとフリートークを行います。「学校／社会に戻すにはどうすれば？」とお考えの方、原点に立ち返って話しませんか。

担当者：丸山康彦（ヒューマン・スタジオ代表兼相談員／『ごかいの部屋』筆者／元当事者）
主 催：ヒューマン・スタジオ（〒251-0031 藤沢市鵜沼藤が谷3-12-28 悠生館）
問合先：TEL 0466-50-2345・FAX 0466-54-7608・メール husta@nifty.com

お名前：
ご住所：
連絡先（電話・FAX・メールのいずれか）：
お子様の年齢：

全体要項（詳細は参加者の皆様のご要望を踏まえ決定します）

内容：対象号の読み上げと補足説明→自己紹介→質疑応答とフリートーク→アンケート記入（対象号は用意しますので事前にお読みいただかなくても安心してご参加いただけます）

会場：神奈川県内の会館（今年度も横浜と湘南で交互に開催する予定です）

担当：不登校のため高校を7年かかって卒業。大学卒業後、高校講師・ひきこもりを経て1999年個人事務所を開設し、研修と活動を積む。2001年ヒューマン・スタジオ設立。相談業務のほか多彩な関連業務が好評で、特にメールマガジンは2014年4月に出版された。

~~~~~次回の「対象号」と「参考号」を事前にお読みくださる方へ~~~~~

テキストとして使用するメールマガジン『ごかいの部屋』は、バックナンバーをすべて公開しています。事前にお読みいただくには「ごかいの部屋」で検索して表示された誌名（「ごかいの部屋」と配信サイト名（「メルマ」か「まぐまぐ」のいずれか）をクリックして配信サイトを開いてください。

【配信サイト別バックナンバー閲覧方法】

- *メルマ：右側のカレンダーで太字の日付をクリックします。直近5号分は下側に表示されたタイトルをクリックして見られます。
- *まぐまぐ：右側に並んだ日付をクリックします。

最初の5年間の参加者の声（アンケートより。カッコ数字は開催回）

少し疑問に思ったことや自分の考えも率直に言えて、又それについての深い解説もして戴け良かったです(5) / ここで自分の中に何らかの納得を発見できた(10) / 信頼できる主催者と、立場はそれぞれ違ってもひきこもりという苦しみをかかえる親の中で、安心できる力を与えられた会でした(15) / 「ひきこもりの方との対比ができてよかったですと思います。似ている内容もあることがあらためてわかりました」(20)

一部が本になったテキストのメールマガジン、読者の声

いろいろな本を読みましたが『ごかいの部屋』がいちばん参考になります（親） / 自分が否定されていないと感じさせてくれます（元当事者） / 経験者が書いているもののなかでは出色の出来（教育学者）

「ダベるの会」のご案内>2015年度から始まった不登校・ひきこもり合同の家族懇談会。2017年度は12月に開催予定。お子様の年齢に関係なく語り合いましょう！